［3．基本金］	2,832,489		
基　本　金	2,832,489		
繰越不足金	423,456		
当年度不足金	2,409,033		
計	12,195,604	計	12,195,604

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

損益計算書の要旨

（厚生年金基金基本年金経理）（自　平成20年４月１日　至　平成21年３月31日）（単位：百万円）

費用	勘定	収益	勘定
［1．経常収支］	2,663,259	［1．経常収支］	207,471
給付費	520,951	徴収金収入	38,786
移換金	8,414	受換金	143,721
離婚分割移換金	888	政府負担金	24,915
還付金	1,231	運用収益	49
運用報酬等	10,777	［2．特別収支］	150
コンサルティング料	25	特別収入	150
運用損失	2,120,973	［3．数理的評価の変動］	114,430
［2．特別収支］	7,686	給付債務減少額	114,430
特別支出	4	最低責任準備金減少額	114,430
繰入金	7,682	［4．基本金及び総合計］	2,409,033
［3．数理的評価の変動］	60,140	当年度不足金	2,409,033
給付債務増加額	60,140		
数理債務増加額	60,140		
［4．基本金及び総合計］	—		
計	2,731,085	計	2,731,085

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

重要な会計方針

１．信託資産、保険資産及び投資の評価基準及び評価方法

時価法によっている。

２．給付債務の算定にあたっては平成16年の死亡率をベースとした現価率を用いている。

３．業務経理への繰入金

厚生年金基金規則第74条において準用する第44条の２の規定に従い、厚生労働大臣の定めるところにより算出した金額を業務経理に繰入れている。

４．消費税の処理方法

税込方式によっている。

貸借対照表の要旨

（厚生年金基金加算年金経理）　（平成21年３月31日現在）　（単位：百万円）

資産	勘定	負債	勘定
［1．純資産］	21,359	［1．純資産］	141
流動資産	440	流動負債	10
預貯金	121	未払運用報酬等	10
未収受換金	319	支払備金	131
未収返納金	0	未払給付費	129
固定資産	20,919	未払移換金	2
信託資産	14,466	［2．負債の数理的評価］	28,264
保険資産	8	給付債務	28,264
投資	6,444	数理債務	28,264
［2．資産の数理的評価］	—	［3．基本金］	—
［3．基本金］	7,046		
基本金	7,046		
繰越不足金	2,248		
当年度不足金	4,798		
計	28,405	計	28,405

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

損益計算書の要旨

（厚生年金基金加算年金経理）（自　平成20年４月１日　至　平成21年３月31日）（単位：百万円）

費用	勘定	収益	勘定
［1．経常収支］	5,035	［1．経常収支］	5,448
給付費	758	受換金	5,448
移換金	28	運用収益	0
運用報酬等	21	［2．特別収支］	0
コンサルティング料	0	特別収入	0
運用損失	4,228	［3．数理的評価の変動］	—
［2．特別収支］	—	［4．基本金及び総合計］	4,798
［3．数理的評価の変動］	5,211	当年度不足金	4,798
給付債務増加額	5,211		
数理債務増加額	5,211		
［4．基本金及び総合計］	—		
計	10,246	計	10,246

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

重要な会計方針

１．信託資産、保険資産及び投資の評価基準及び評価方法

時価法によっている。

２．数理債務の算定にあたっては平成16年の死亡率をベースとした現価率を用いている。

３．消費税の処理方法

税込方式によっている。